

# つくば・市民ネットワーク通信 第15号

発行：つくば・市民ネットワーク 発行責任者：阿部登代子 つくば市千現 1-18-5-101 Tel&Fax:029-859-0264

E-mail : tsukubahotnet@ybb.ne.jp ホームページ : http://www.geocities.jp/tsukubahotnet/

市民・行政・事業者がともにめざす

## ゴミ削減から循環型社会へ

地球温暖化問題、あふれるゴミや有害物質…  
環境問題はまったなしです。

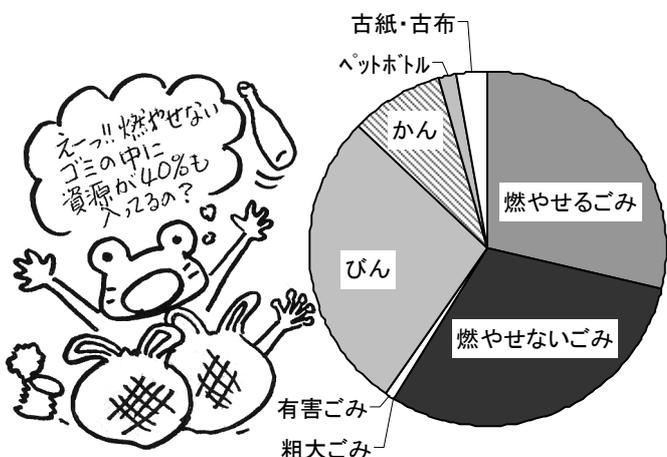
### まずは分別の徹底から

つくば・市民ネットワークでは身近な環境問題としてゴミ問題にとりくんでいます。市のゴミ事情を調査したところ、分別の不徹底、全国平均の半分以下のリサイクル率、最終処分場が市外にあり余命15年ほどという問題などが明らかになりました。

早急にゴミの削減とリサイクルを具体的にすすめていかなくてはなりません。

市民ネットではリサイクルをすすめるために啓発活動の強化と事業所ゴミの分別徹底を市に働きかけてきました。その結果、市は事業所ゴミ分別の指導、クリーンセンターでの搬入検査、3Rニュースの発行などを実施するようになりました。

つくば市の家庭から出される  
燃やせないごみ組成分析結果  
(つくば市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画改訂版(H17~21年)より)



### 新リサイクルセンターを資源再生の拠点に!

資源の再利用を推進するための中間処理施設がリサイクルセンターです。現在の市の施設は老朽化

し、新たなリサイクル施設の建設が計画されています。市民ネットはこれから策定される実施計画に、分別や収集法の見直し、家具の再利用、バイオマス利用などゴミにせず資源として活用する施策が積極的に盛り込まれるよう働きかけています。

### レジ袋無料配布中止はゴミ削減の第一歩

また、市民ネットでは「レジ袋を断って、マイバッグを持つこと」をゴミを減らす行動の“はじめの一歩”にしたいと昨年からレジ袋削減に取り組んでいます。スーパー店頭でのPR、アンケート、フォーラム等を実施。これを受けて、市は市民・事業者・行政が参加する「レジ袋削減のための懇談会」を開催。協議を経て、6月「レジ袋削減に向けた取り組みに関する協定」が締結されました。今後、広報やまつりつくばなどでPRを行ない、9月1日から市内の主なスーパーマーケットにおいて「レジ袋の無料配布中止」が実施されます。

### 循環型社会は市民・行政・事業者の協働から

今回のレジ袋削減の取り組みは市民・事業者・行政の協働でなしたことです。ゴミ減量・リサイクルセンターの建設、これから進める「つくば環境スタイル計画」なども三者の協働なくしてはなりません。計画策定段階からの積極的な市民参加をすすめ、「循環型社会」をつくりたいと考えます。

## 大豆畑トラストつくば 参加者募集中!

今年も遺伝子組み換えでない国産大豆を無農薬で栽培します!ブルーベリー摘みなど収穫体験も準備しています。みなさんの参加をお待ちしています。

参加費：1口2000円  
申し込みは市民ネット事務局へ



## 環境スタイル計画は各方面との連携で

### 風車の失敗をどう生かすのが！

つくば市は、国が募集した環境モデル都市に立候補し「つくば環境スタイル計画」を公表しました。しかし立候補に対して「風車問題はどうか



つくば市議会議員  
環境経済常任委員会所属  
ながい えつこ  
**永井悦子**

#### 一般質問項目

1. 市民協働について
2. つくば環境スタイル計画について
3. 情報共有について（市報・HP）
4. 春日小中学校予定地に隣接する変電所の影響について

たのか」「風車問題の評価をせずに、新たな環境事業に着手してよいのか」など検証を求める声が市民から出ています。風車問題とは、つくば市内の小中学校に設置した 23 基の小型風車が予定通りに発電せず、その後の破損事故で全て撤去され総額 3 億円が税金の無駄使いとなってしまった問題です。

### 市からの情報、届いていますか？

市報が月 2 回から 1 回配布になり、掲載される情報が少なくなりました。これまでも市民から寄せられたお知らせを掲載しきれないことがあったそうです。タイムリーな情報発信を考え月 2 回配布を復活して欲しいと思います。

またホームページのリニューアルで「各課 HP」が無くなり、各課からの情報が直接発信されなくなりました。市政情報が少なく、検索もしにくいと不評です。

市報、HP 共に大切なツールです。「行政自ら全てを発信する」という姿勢で情報提供を行って欲しいと思います。



一方「つくば環境スタイル計画」の中で市は風車事業の「貴重な経験は、十分な検証と反省を加えることで、実行性の高い CO<sub>2</sub> 削減の取組みを実現するための糧に転ずることが可能」と述べています。では、十分な検証と反省とはどのようなことなのでしょう。

### 当事者意識のうすい市長発言

そこで、生かすべき課題について質問したところ「風車問題は早稲田大学の信用問題であって、環境、エネルギー、風車の利活用等の問題とは根本的には違うと考えている。この事業の詳細は、発想、計画に関して職員から何度も聴取をしたが、十分理解できなかつたというのが率直な印象で、もし詳細についてどうしても知りたい場合には、前市長に質問してほしい」と市長は答弁しました。この発言には、事業に対する当事者意識、責任者としての説明、事業を継続できなくなったことへの反省は全く見られません。事業の失敗について真摯に検証し、原因について説明責任を果たすべきと考えます。

### つくばの“市民の力”を活かして

風車事業の失敗は、事業を一部の担当者だけで進めた点に大きな原因があったと思います。市民参画で進め、途中経過についても計画の立案段階から随時適切に説明すべきでした。

今後「環境スタイル計画」推進にあたって行政は、市民、大学、各研究機関、事業者と連携して取組まねばなりません。今度こそ生きた環境事業になるよう注視していきます。



平成 24 年開校予定の仮称：春日小中学校予定地に隣接する変電所の影響について、教育長は、「現在東京電力に調査依頼しているが、安全確認のため独自調査も行う予定。電磁



波の影響を受けないためにどのような方法があるか、遮壁なども検討し対応したい」と発言しました。重要な問題ですので、今後の経緯を随時お知らせします。

新設学校に隣接する変電所の影響は

## 小中一貫教育・つくば市の方針は？

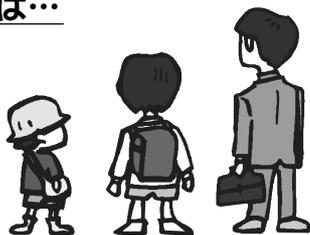
### 小中一貫教育の目的

公立小中学校への小中一貫教育の導入が文科省の奨励もあり、全国的に進められています。

義務教育は、現行の6・3制というシステムが硬直し、中一ギャップ、不登校といった問題がクローズアップされてきています。小中一貫教育の導入は、この課題を解決しようと、**義務教育を9年間というひとつの流れの中で捉え、小学校、中学校という枠を取り払うという試みです。**

### つくば市が目指すのは…

教育長によると、つくば市の一貫教育は、9年間のスパンで教育計画を立てることができるといふ良さを生かし、教育課程に柔軟性を持たせる、教科担当制をとりいれて、小学校から中学校への接続をスムーズにする、児童同士のつながりを大事にするとのことです。



気になる将来に向けての展望ですが、「まず仮称：春日小中学校を小中一貫校とし、これをモデルに、その後T×沿線の開発に伴って新設される学校については小中一貫校にしていく。また、既存の学校については、現在一部の学校で研究が進められている小中連携を参考に、県とも相談しながら小中連携教育を進めていく」とのことでした。

### 検討の途中経過が大切

導入については、その検討過程を地域や保護者など、広く市民に知らせることが必要です。情報が十分でないと、計画の全体像がわからないため、先行きの心配が先にたち、不安を増長させる結果になりかねません。



つくば市議会議員  
文教福祉常任委員会所属  
せと ゆみこ  
瀬戸 裕美子

#### 一般質問項目

1. 地産地消と食育について
2. 小中一貫教育について
3. 中央図書館の  
指定管理者制度導入について

つくば市教育委員会には、市民の信頼を得て、よりよいつくばの教育をすすめていくために、**つくば市の教育方針を明確にし、教育のあるべき姿を示すこと、そのためにもつくば市の公教育の理念を市民に明らかにしていただきたいと引き続き要望していきます。**



## 議員定数

### 考えるべきは数ですか、質ですか？

つくば市議会は現在 33 人の議員で構成されています。

昨年、費用弁償の廃止を求める請願が不採択となりましたが、社会問題にもなっていたことから、費用弁償、政務調査費、議員報酬とあわせて議員定数についても検討

討するために、議会内に特別委員会が立ち上げられました。しかし議員定数については、意見がまとまらず、現行どおり 33 人を維持することとなりました。

市民ネットは、市民の声を市政に生かすためには、できるだけ多様な意見を代弁できる適切な人数で議会を運営すべきで、議員の果たすべき役割などの根本的な議論がないままに、数や報酬について決めることはできない、と考えています。



## まちの声から

市民ネットでは、市民の皆さんから様々なご意見を集めています。その一部を紹介します。

「後期高齢者医療制度で、茨城県では担当医制度などを行ってないがいつまで続くの？眼底検査と心電図検査は制限しないでほしい」

「学園地区の歩道は凸凹したところが多いので補修してほしい」

「公民館での軽い飲食は親睦のためにも認めてほしい」

「つくば市の借金は健全なの？」

「公務員宿舎跡地再開発、今は止まっているけどどうなるの？」



これら暮らしの様々な問題に取り組んでいます。

### つくば・市民ネットワークの主な活動報告

- 4/18 小型風車特別調査委員会
- 22:27:5/8:12 市議会議員と話そう会
- 24 第2回レジ袋削減のための懇談会出席
- 25 第2回市民協働ガイドライン策定懇談会傍聴
- 5/7 環境都市推進委員会傍聴、給食センター視察(筑波)
- 11 つくばフェスティバル(レジ袋削減キャンペーン)
- 14~16 環境経済委員会視察研修
- 19 体と心を育む学校給食(学習会)
- 20~22 文教福祉委員会視察研修
- 22 第3回市民協働ガイドライン策定懇談会傍聴
- 22 第3回レジ袋削減のための懇談会出席
- 23 給食センター視察(桜)
- 28 遺伝子組み換え作物連絡会出席
- 31:6/1 第2回3Eフォーラム参加
- 6/6~27 6月議会本会議
- 12 リサイクルプラザ学習会参加
- 16 レジ袋無料配布中止協定締結式出席
- 22 赤松良子講演会・パネルトーク(パネラー参加)
- 25 第4回市民協働ガイドライン策定懇談会傍聴
- 7/5 大豆畑トラストつくば：種まき
- 6 つくば・市民ネットワーク臨時総会
- 10~11 TX関連まちづくり推進特別委員会行政視察



\*\*編集後記\*\*

「議会内活動だけが市民ネットの活動にあらず」と心がけつつ、政策決定の場で力が発揮できなければ折角の活動も実になりにくい。ふぁいと！

## つくば・市民ネットワーク 会員募集中

一緒にまちづくりを考えてみませんか。興味のある方、お気軽にご連絡ください。

Tel&Fax 029-859-0264

## 市民協働ガイドライン④

### 話し合っで決めるのが協働の第1歩なのでは？

市民の力をまちづくりに活かし、財政面の節約をしつつ、質の高いサービスを提供しようと全国で「行政と市民の協働」が進められています。つくば市でも、市民と行政が共通した考え方で手続きが行えるよう「市民協働ガイドライン」を検討中です。

これまで4回の策定懇談会があり、行政がまとめた案と市民がワークショップをして作成した市民案、他の自治体の先行事例などが比較検討されてきました。

懇談会では「市民協働は地域のコミュニティづくりに大変効果があり、企画の段階から市民の参画をすすめたい」という積極的な意見も出ました。また、「総合窓口やコーディネーターの設置・評価体制の充実」などが市民案で出されています。しかし、それらは行政がまとめた案には盛り込まれていません。また、これまでの意見を集約・整理された新たな案が委員から提示されましたが、委員間での議論はなく、行政がまとめた案を基に座長がまとめるという運びになりました。各々の委員が意見を述べるのみで、議論なしにまとめられては、一堂に話し合いの場を持った意味が無くなってしまいます。

まずはこのガイドラインを作る段階で、市民参加が保障されて声を活かされるよう働きかけていきます！

傍聴できます！

第5回  
市民協働ガイドライン策定懇談会  
7月30日(水) 13:30~  
春日庁舎

## 市議会議員と話そう会

7/23(水)	春日公民館	1時半~3時半
7/24(木)	吾妻公民館	〃
7/25(金)	竹園公民館	〃
7/28(月)	並木公民館	〃
7/29(火)	手代木公民館	〃
7/31(木)	小野川公民館	〃
8/3(日)	荃崎公民館	〃

市議会議員の永井悦子または瀬戸裕美子を交え、議会の報告、身近な問題について話し合います。